

第 86 号

平成29年6月30日 発行

編集・発行

(一社)新潟県サッカー協会広報委員会



# NiFA NEWS

## 新年度を迎えるにあたって



一般社団法人 新潟県サッカー協会  
会長 柄沢 正三

皆様におかれましては、ますますご活躍のこととお喜び申し上げます。日頃から登録されておりますチーム・選手、地区協会、各種連盟及び協会役員等の皆様には深いご理解と温かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

去る五月三十日に開催されました社員総会及び理事会において平成二十八年度事業報告及び決算をご承認いただきました。既に三月二十一日にご承認いただきました平成二十九年度事業計画及び予算と合わせ、ここに新年度をスタートする運びとなりました。また、平成二十九年度におきましては新たに中野幸夫様（アルビレックス新潟代表取締役社長）、中村勉様（JSC校長）を特任理事にお迎えしました。新体制の元、皆様からご指導賜りながら更にご期待に添うべく努めてまいります。あらためてよろしくお願ひ申し上げます。

さて、新潟県では昨年度も多くの分野で選手が活躍し好成績を収めました。岩手国体においてはサッカー競技総合優勝を果たし、中でも女子選抜は全国第一位という見事な成績

でありました。女子サッカー普及につながる一歩となります。また、フットサルの活躍も目覚ましくU15、U18とともに本県代表が全国大会連覇を続け、フットサル強豪県としてゆるぎない地位を確立しております。これはキッズから各種別の育成・強化・普及活動が結実した成果であり、日頃の強化育成に携わる皆様のご尽力の賜物であります。皆様の不断の努力に敬意を表するとともに協会として更に支援をしてまいります。

少子高齢化が加速する本県においてサッカー登録者数の増減は、本協会にとり最大の課題であります。本年一月に開催された「JFAサッカーファミリー・タウンミーティング」において登録者数の数値報告を行いました。概ね横ばいという結果にJFA田嶋会長はじめ参加者は感嘆の声を上げておりました。多くの関係者のご尽力の賜物であり心より感謝申し上げます。

本協会は、キッズ世代をサッカースポーツへの入口として捉え、多くの子どもたちへの働きかけを実施しております。この分野への更なる助成を進めてまいります。また、女子サッカーの分野にも力を注ぎます。4種年代で活躍した女子選手が3種年代でもサッカーを続けられる環境、新たにサッカーを始められる環境を準備いたします。既に、4種委員会・女子委員会・技術委員会などを横断的に連動する準備を進めております。そして、障がい者サッカーへの取り組み、社会人・シニア世代への働きかけにより、サッカーを誰もが触れることのできる生涯スポーツへと育て、サッカー文化を創造し「NiFAの理念」を確立してまいります。同時に、サッカー文化創造に一番の障壁となる練習・大会等における暴力・暴言・差別の根絶のため、ウエルフュアオフィサー認定などの周知活動も行っております。

陣頭指揮のもと多くの観衆を集め、我々に熱気溢れる試合を提供してくれるものと確信いたします。アルビレックス新潟レディースも前半戦は苦しんでおりますが、皇后杯準優勝の実績を持つチームの矢は少しも折れていません。両チームとも新潟県サッカーの象徴であり、今後とも、新潟県サッカー文化の担い手としての活躍を応援してまいります。

本年7月開催の国際ユースサッカーin新潟は、メキシコ・クロアチアのU17代表を招聘いたしました。中でも、十月のU17ワールドカップに出場する日本代表・メキシコ代表の白熱した一戦は多くのファンの興味を引き、これらチームとの対戦は新潟選抜をはじめとする新潟県サッカーの強化育成に資するものであります。今大会も熱中症に対する多くの準備を整え、選手に配慮した国際大会に相応しい運営を心がけてまいります。

# 第21回国際ユースサッカーin新潟 開催のご案内

### FIFA U17ワールドカップインド2017 出場国(日本・メキシコ)との“ガチンコ”勝負!! 新潟選抜も下剋上に気合十分

今年で21回目を迎える国際ユースサッカーIN新潟がU17日本代表、U17メキシコ代表、U17クロアチア代表を迎え、7月15日(土)から17日(月)に開催されます。

今年度は21回目を迎える国際ユースサッカーIN新潟がU17日本代表、U17メキシコ代表、U17クロアチア代表を迎え、7月15日(土)から17日(月)に開催されます。今年度は10月にインドでFIFA U-17ワールドカップが開催されます。U-17日本代表及びU-17メキシコ代表はU-17ワールドカップに向けたチーム強化や最終メンバーの選考など非常に大切な強化試合としてこの大会を位置付けており、例年以上に熱い戦いが予想されます。

## U-17 日本代表

## U-17 メキシコ代表

【聖籠町 スポアイランド聖籠】 開門時間 15:30 **入場無料**  
7月15日(土) 16:30 ~ U-17 新潟選抜 VS U-17 メキシコ代表  
7月16日(日) 16:30 ~ U-17 新潟選抜 VS U-17 クロアチア代表

【新発田市 五十公野公園陸上競技場】 開門時間 15:30 **入場無料**  
7月15日(土) 16:30 ~ U-17 日本代表 VS U-17 クロアチア代表  
7月16日(日) 16:30 ~ U-17 日本代表 VS U-17 メキシコ代表

【新潟市 デンカビッグスワンスタジアム】 開門時間 14:20  
7月17日(月) 15:50 ~ U-17 新潟選抜 VS U-17 日本代表  
7月17日(月) 18:30 ~ U-17 クロアチア代表 VS U-17 メキシコ代表

デンカビッグスワン	前売		当日	
	大人	中高生	大人	中高生
7月18日(月)	800円	400円	1,000円	500円

※小学生以下 無料 ※新発田市会場は無料となりました

- 販売場所
- ①新潟日报社 メディアシップ「インフォメーションセンター えん」
  - ②新発田市役所 (スポーツ推進課)・五十公野陸上競技場
  - ③アルビレックス新潟公式戦 (ホーム) チケット販売所
  - ④聖籠会場、新発田会場 (7月15・16日)

## U-17 新潟選抜

## U-17 クロアチア代表

### 関連イベント告知

**EVENT 7/15-16-17 サッカー教室** 見学自由

- 7月15日(土)【聖籠町民会館 アリーナ】 13:00 ~
- 7月16日(日)【五十公野公園陸上競技場】 13:00 ~
- 7月17日(月)【新潟県スポーツ公園】 13:00 ~

ゲスト講師 山口 素弘 (元日本代表・元アルビレックス新潟)  
※地元小学生を中心にサッカー教室を開催

**EVENT 7/18 ハーフタイムショー**  
**7/18 県立新潟中央高校 ダンス部**

- 7月18日(火)【デンカビッグスワンスタジアム】

出演予定: ①16:35頃  
②19:15頃  
(2回公演)

**EVENT 7/13 地域交流会** 非公開

- 7月13日(木)

各国代表チームによる開催地小学校訪問と児童との交流会を実施します

今大会は、スカパーが「U-17 日本代表の3試合」を生中継する予定です。会場とは一味違った視点での楽しみが増えます。  
・7月15日 U-17 日本代表 VS U-17 クロアチア代表  
・7月16日 U-17 日本代表 VS U-17 メキシコ代表  
・7月17日 U-17 新潟選抜 VS U-17 日本代表

# 第22回全日本ユース(U-15)フットサル大会

長岡JYFC代表 西田 勝彦

新潟県勢の5連覇を以て決勝戦を戦うべく大会を目指して、北信越大会に勝ち抜いた新潟トレジャーFCと共に、地域の代表としての誇りを持ち、全国大会に臨みました。

長岡JYFCとして、

前年の全国制覇に続き3連覇を達成する明確な目標を掲げ、強い意志を持ち、「長岡JYFC U-15」と「長岡JYFC 2001」の2チーム



守備では、積極的に前線から連動するし、強いプレッシャーを与え続けるとともに、粘り強く耐える部分も意識しました。

その中で、厳しい試合が続くところ、大会期間中多くの声援を受けながら、目標を達成できたことは自信に繋がっています。

- 【長岡JYFC U-15】優勝
  - 1次ラウンド グループB
  - 4-1 プリンカールFC (東海/愛知)
  - 7-1 道都Jユース (北海道)
  - 4-2 アヴァンサールFC (中国/岡山)
- 【長岡JYFC 2001】1次リーグ敗退
  - 1次リーグ グループC
  - 1-4 北海道コンサドーレ旭川U-15 (北海道)
  - 3-0 ヴェルスリアンFC (九州/長崎)
  - 3-3 アスレチッククラブ 弘前 (東北/青森)
- 【長岡JYFC U-15】準決勝
  - 6-1 A.C.カラクテル (関東/千葉)
- 【長岡JYFC U-15】決勝
  - 5-4 A.S.C.北海道U-15 (北海道)

当クラブは、長岡市を拠点としており冬期間は屋外のトレーニングが難しいです。体育館を利用することが多く、フットサルを取り入れ、サッカーとフットサルを融合させてトレーニングしてきます。



# 新潟県高等学校総合体育大会 サッカー競技大会

## 県総体を振り返って

日本文理高等学校サッカー部 監督 駒沢 隆一

人工芝グラウンドの完るまで成長しました。成に合わせ2012年からのジュニアユース(中学年代)チームを立ち上げ独自の強化を進めてきました。当日間で5試合、激戦の時、県の4部リーグからスタートしたチームは今年度より北信越リーグに参戦する

## 全国大会に向けて

日本文理高等学校サッカー部 主将 長谷川 龍一

県総体を優勝しインターハイの出場権を獲得したことを、とても嬉しく思います。今大会はディフェンス面の部分をチームとしてチャレンジし、特に一人ひとりがハードワークをすることを意識し

の技量だけでなく体づくりやメンタリティの強化に力を入れ、「怯まな心、負けない身体、相手より走る」というサッカーの原点を追い求めてくれた結果ではないかと感じています。チームは未知の領域に足を踏み入れます。私たちのチームの応援フラッグにもあるように、「誇り」を胸に、強い「絆」で全国に「挑み」ます。ご声援いた



## 甲信越静U-16サッカー大会報告

U-16新潟県選抜 監督 藤田 敬三

去る3月20・21日に長野県松本市で行われた「甲信越静U-16サッカー大会」に出場しました。この大会は、国体強化として各強豪県と対戦できる非常に貴重な大会です。U-16年代では、よりアグレッシブでスピーディーなプレーが求められており、この時期にこのような大会で真

剣勝負ができることはチーム・個人の現在地を知る上でとても意義深いことです。新潟県は、トレセンは、国体強化として各強豪県と対戦できる非常に貴重な大会です。U-16年代では、よりアグレッシブでスピーディーなプレーが求められており、この時期にこのような大会で真

習会を重ねた中でメンバーを選考しました。近年、新潟県の選手はテクニクの面ではとても優れているという実感はありましたし、北信越国体を10年連続で突破している実績も考えると選手のレベルは確実に向上しております。今大会は新潟の良さがどれだけ通用するかを試す、絶好の機会でした。今大会では、長野県・静岡県・山梨県と対戦しました。初戦の長野県は前半に相手に



### 新日程となった県選手権を終えて

新潟県サッカー協会  
県選手権実施委員長 石坂 学

第97回を迎えた天皇杯全日本サッカー選手権大会が4月22日(土)に開幕し、「新潟医療福祉大学サッカー部」(大学連盟所属)が新潟県代表として参戦しています。1回戦は岐阜経済大学(岐阜県代表・長良川球)を快勝で突破し、目標の一つであるJリーグ勢との対戦が実現します。2回戦、6月21日(水)J1「セレッソ大阪」(金鳥スタ)にチャレンジできることで、「新潟医療福祉大学サッカー部」にかかわるすべての方々の意気込みは相当なものと思われ、流れが変わりました。

雪や天候の問題など、課題は山積みでした。天皇杯9地域運営会議では様々な議論が交わされましたが、JFAの課題対策と新潟県の各関係者の協力により、無事に第22回大会を終えることができました。次の第23回大会は29年10月の開幕を予定しています。日程改革により、28年度第21回大会決勝戦を8月下旬に終えたのち、今大会の第22回大会を28年10月末(4月9日(日)県代表決定期限まで短い日程での開催を余儀なくされ、年度内で2度予選会を行うことになりました。日程的に非常に厳しい状況で、調整が難しい状況です。また、種別カテゴリーが交わるチャレンジの場として、これまで夏の全日本少年サッカー大会(略して「全少」と秋の県U-12選手権大会(「新津カップ」という流れだった。平成二十七年と二十八年は、「全少」と「新津カップ」にあたる県U-12選手権大会を兼ねて実施していた。

長年、共催企業からの多大なるご支援をいただいている「第22回新潟日報杯・NHK杯・共同通信杯新潟県サッカー選手権大会」の開催が実現し、各関係者の協力により、無事に第22回大会を終えることができました。次の第23回大会は29年10月の開幕を予定しています。日程的に非常に厳しい状況で、調整が難しい状況です。また、種別カテゴリーが交わるチャレンジの場として、これまで夏の全日本少年サッカー大会(略して「全少」と秋の県U-12選手権大会(「新津カップ」という流れだった。平成二十七年と二十八年は、「全少」と「新津カップ」にあたる県U-12選手権大会を兼ねて実施していた。



新潟県サッカー協会 県選手権実施委員長 石坂 学

### 第二十五回 県U-12選手権大会を終えて

第四種委員長 鷲頭 昌孝

平成二十九(2017)年六月十七日(土) 決勝戦はアルビレックス新潟U-12と長岡JYFCU-12と

それまでの夏開催から冬開催(十二月二十五日〜鹿兒島市)に変更になってから大きな転換点を迎えた。それまでは、夏の全日本少年サッカー大会(略して「全少」と秋の県U-12選手権大会)と位置づけて実施することにした。これで、夏の「県U-12選手権大会」と冬(秋)の「全少」という小学六年生のサッカー大会の流れができたと言える。

大会一日目は六月四日(日)同じく聖籠スポーツセンター会場で、県内四地区から二十四チームが参加し、四チームリーグ戦

雪や天候の問題など、課題は山積みでした。天皇杯9地域運営会議では様々な議論が交わされましたが、JFAの課題対策と新潟県の各関係者の協力により、無事に第22回大会を終えることができました。次の第23回大会は29年10月の開幕を予定しています。日程改革により、28年度第21回大会決勝戦を8月下旬に終えたのち、今大会の第22回大会を28年10月末(4月9日(日)県代表決定期限まで短い日程での開催を余儀なくされ、年度内で2度予選会を行うことになりました。日程的に非常に厳しい状況で、調整が難しい状況です。また、種別カテゴリーが交わるチャレンジの場として、これまで夏の全日本少年サッカー大会(略して「全少」と秋の県U-12選手権大会(「新津カップ」という流れだった。平成二十七年と二十八年は、「全少」と「新津カップ」にあたる県U-12選手権大会を兼ねて実施していた。

六月十八日(日)御茶ノ水のJFAハウスにて「JFA女子サッカー普及コーディネーター」研修会が行われた。当日は雨が間断なく降っていて道のりも険しさを示唆しているようだった。研修会は、JFAハウスのヴァーチャルシアター会場が始まった。前半は、今井女子委員長のレクチャーである。今までの経緯や喫緊の課題などについて述べた。平成二十六年(2014)年に女子U-12年代の協会登録が第四種に統合されたこととその後、女子U-12の登録人数の増加傾向、しかし第四種年代の登録人口の減少傾向など少子化の影響などがあり、普及と強化に対する逆風の状況にあることが指摘された。今回の「JFA女子サッカー普及コーディネーター」が第四種と女子委員会との手を携えた普及と強化の活動の必要性を求めている。さらにU-10年代以下、つまりキッズ年代への働き掛けと種別を超えた連携の動きを求めている。

六月十八日(日)御茶ノ水のJFAハウス(2005)年の県内小学生の人口は約十五万人以上あったが十年後(2014)の平成二十六年(2014)年には約十一万五千人と四万人弱の減少である。ところがその間、第四種の協会登録人数は五千五百人前後を維持しており、減少していない。これは、第四種委員会の活動として、平成十五(2003)年からU-10キッズ県大会を実施し、U-10とU-9年代の協会登録を掘り起こしたり、平成二十(2008)年

からは県U-8フェスティバルを実施し、U-8年代の協会登録人数を開拓したりと努力を重ねてきた成果であると言える。もちろん平成十四(2002)年の日韓共催Wカップの新潟開催や平成十六(2004)年のアルビレックス新潟のJ1昇格など新潟のサッカー熱の上昇があったのは間違いない。活動を関連づけて、つなげていき、それぞれの委員会が情報を有機的に共有していくことで普及と強化の両輪をより大きな車輪に成長させていくことが必要である。

たえ外は雨降りであつても、足下のしつかりとした車輪に育てて行かねばならない。各種別・各委員会各位のご協力・ご鞭撻・ご指導をお願いしたい。

### 四種&女子U12連携普及事業について

第四種委員会事務局 & JFA女子サッカー普及コーディネーター 石川 正記

東日本大震災 復興支援  
がんばろう ニッポン!  
サッカーファミリーのチカラをひとつに!

第四種委員会は、サッカーの入り口に立ち始めた子供たちの未来に触れていると考え、その子供たちが、サッカー少年としてサッカースポーツの楽しさを感じ、より多くの人々たちとそれを共有していきけるよう努めていきたい、と願っている。この日程を受けて、この日程を「県U-12選手権大会」と位置づけて実施することにした。これで、夏の「県U-12選手権大会」と冬(秋)の「全少」という小学六年生のサッカー大会の流れができたと言える。

第四種委員会は、サッカーの入り口に立ち始めた子供たちの未来に触れていると考え、その子供たちが、サッカー少年としてサッカースポーツの楽しさを感じ、より多くの人々たちとそれを共有していきけるよう努めていきたい、と願っている。この日程を受けて、この日程を「県U-12選手権大会」と位置づけて実施することにした。これで、夏の「県U-12選手権大会」と冬(秋)の「全少」という小学六年生のサッカー大会の流れができたと言える。

### NiFA マスタープラン 2007 スタート

(一社)新潟県サッカー協会は、英語名:Niigata Football Associationの略称を従来のNFAからNiFAに変更し、これを「ニーフア」と読みます。また、新たなスタートを切るNiFAを象徴するシンボルマークを作成。4本の翼は新潟、上越、中越、下越の4地区協会を表し、新潟県の形も示しています。そして4地区協会の飛躍による新たな新潟のサッカーをGOALに向かうサッカーボールで表現しました。さらに濃いブルーは新潟の空と海、地域に根ざしたNiFAを表しています。NiFAはさまざまなシーンでこのシンボルマークを使用していきます。

#### NiFAの理念

サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

#### NiFAのビジョン

- 新潟県におけるサッカーの普及に努め、全ての県民がサッカーに親しむ環境を作り上げる。他の競技団体と連携し、スポーツをより身近なものとする中で、県民の健康で豊かな生活をサポートする。
- 新潟県を代表するチームが日本のトップレベルで活躍できるようサッカーの強化に努め、新潟県出身プレーヤーが国内外で活躍することで、県民に勇気・希望・感動をもたらす。
- 常にフェアプレーの精神を持ち、国内外の人々との友好を深め、社会に貢献する。

#### NiFAの目標 2015

2015年には、健全でゆるぎない組織となり、6つの目標を達成する。

- 新潟県内のサッカーファミリーが8万人となる。
- Jリーグ、Lリーグに新潟県出身プレーヤーを合計10人以上輩出し、日本代表フル代表、年代別代表等に選出される選手を輩出する。
- 各カテゴリーの全国大会において、新潟県チームのいずれかが常にベスト4以上の成績を修める。
- JFLに加盟するチームを育成する。
- 各カテゴリーの全国大会、国際試合を誘致、運営する。

#### NiFAの目標 2050

2050年に向けて、組織基盤をさらに強固なものとし、2050年までに以下の目標を達成する。

- 新潟県内のサッカーファミリーが15万人となる。
- Jリーグ、Lリーグに新潟県出身プレーヤーが合計10人以上存在し続け、日本代表フル代表、年代別代表等に選出される選手を輩出し続ける。
- 日本でFIFAワールドカップが開催される際には、サッカー専用スタジアムで試合を開催する。

●●スマイル&チャレンジ●●  
当協会にご支援いただいている法人各社  
TONYテレビ新潟 BSN新潟放送 新潟日報  
東北電力 総合生協 新潟県信用金庫協会  
2007年宣言の実現のため諸事業に取り組んでいます!!

# 女子委員会

## 全日本女子ユース(U-15)

### サッカー選手権北信越大会について

アルビレックス新潟レディースU-18 コーチ 斎藤 友里



様から、アルビレックス新潟に対して多大なご支援とご声援を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、第22回全日本女子ユース(U-15)サッカー選手権北信越大会におきまして優勝することができました。新潟県サッカー協会ならびに大会運営をしていただいた関係者の皆様、保護者の皆様様に感謝申し上げます。

日頃より新潟県内サッカー関係者の皆

手のお母さん達です。4月のフェスティバルでは普及活動の取り組みとして、今年から可能な限り、月に一度「上越なでしこサッカーフェスティバル」と題したフェスティバルを行っています。

## 上越地区の活動

上越地区女子委員長 川原 寿夫

女子委員会上越地区では普及活動の取り組みとして、今年から可能な限り、月に一度「上越なでしこサッカーフェスティバル」と題したフェスティバルを行っています。

参加者は上越地区の女子サッカークラブ J J Wish と、その地域の高校の女子サッカー部で活動する3校の女子サッカー部員、ポスター配布により集まった初心者の小学生達、そして、選

不参加者は上越地区の女子サッカークラブ J J Wish と、その地域の高校の女子サッカー部で活動する3校の女子サッカー部員、ポスター配布により集まった初心者の小学生達、そして、選

不参加者は上越地区の女子サッカークラブ J J Wish と、その地域の高校の女子サッカー部で活動する3校の女子サッカー部員、ポスター配布により集まった初心者の小学生達、そして、選

ない為の準備、セットプレーでの対応を全体で共有し北信越大会に臨みました。

初戦では、選手の集中力の高さとゴールへの推進力が発揮され開始1分でコーナーキックから先制できました。準備していたセットプレーの対応が守備だけではなく攻撃でも活かすことができ、セットプレーでの得点が大会中多くありました。また、守備の時間が長い試合は無かったのですが、相手にカウンターをさせない為の準備という部分でも大会無失点で終えるという成果となりました。

その一方、相手を見て相手と向き合いながらプレーの判断をできず、ボールを失ってしまふこと、相手のプレッシャーを感じると技術の精度が落ちることが多くありました。まだまだ局面を見て打抜く技術の精度を上げていかなければならないと感じました。

15分1本のゲームを、指導者のコーチング無しとしポジションも毎回変わる、勝ち残りというルールのみで行いました。サッカーが楽しい、というのが導入であり、続ける為の理由であったと思います。

15分1本のゲームを、指導者のコーチング無しとしポジションも毎回変わる、勝ち残りというルールのみで行いました。サッカーが楽しい、というのが導入であり、続ける為の理由であったと思います。



したいと思います。新潟県サッカー協会をはじめ、新潟のサッカーに関わる皆様には変わらぬご支援・ご声援をよろしくお願い申し上げます。



## TenY新潟

### ママ・レディースサッカーフェスティバル

レディースフェスタに参加して WISHガールズ 竹内 寛奈

私は、この大会に初めて参加しました。今回はコートが狭くてとてもやりづらく、すぐにボールをとられる事が多かったのですが、サッカーは、基本的な足技とチャレンジする事がとても大事という事が今大会で分かりました。

WISHで参加した今回の大会では、三試合目に川上さんと戦えてうれしかったです。これからがんばって行きたい事は、ドリブル

を相手につけない事です。これからもたくさん練習して、自分もチームも強くなりたいです。

私は、この大会に初めて参加しました。今回はコートが狭くてとてもやりづらく、すぐにボールをとられる事が多かったのですが、サッカーは、基本的な足技とチャレンジする事がとても大事という事が今大会で分かりました。

WISHで参加した今回の大会では、三試合目に川上さんと戦えてうれしかったです。これからがんばって行きたい事は、ドリブル



## 「JFAレディース/ガールズフェスティバル 2017新潟in新発田」を開催しました!

下越地区サッカー協会女子委員会 フェスティバル運営担当

2017年5月27日(土)、新発田市五十公野運動公園陸上競技場にて、JFAレディース/ガールズフェスティバル2017新潟in新発田を実施いたしました。

こちらのフェスティバルは、プレナスなどレックス新潟レディース対テレ・ベレーザの試合とあわせて開催され、試合前にピッチ

2017年5月27日(土)、新発田市五十公野運動公園陸上競技場にて、JFAレディース/ガールズフェスティバル2017新潟in新発田を実施いたしました。

こちらのフェスティバルは、プレナスなどレックス新潟レディース対テレ・ベレーザの試合とあわせて開催され、試合前にピッチ

せん。年1回ではありますが、毎年下越地区で開催されるアルビレックス新潟レディースのホームゲーム時に実施することを恒例としており、参加者の中には昨年も参加して下さった方もいらっ



### JFAプレミアアカップ2017

アルビレックス新潟U-15監督 入江 徹

5月3日から5日、大阪のJ-GREEN N堺で行われました。3日間という短期決戦ということもあり、初戦の重要性とコンディショニングがポイントでした。

初戦は横浜F・マリノス追浜でした。立ち上がりから主導権を握り、いい攻撃ができ、その中で9分に先制を

進めることができました。前半は攻撃の時間が長く、いいリズムで進めることができました

が、追加点が奪えずに折り返し、後半は相手も少しづつ勢いが出てきて攻められることも

ありましたが、しっかりと守備をして失点を抑えることができました

1-0で勝利することができました。

2試合目はスプレッド・イーグルFC函館でした。この試合も、立ち上がりの3分に先制をしていいスタート

を切れました。その後、11分にCKから追加点を奪い、流れで試合を進めることが

できました。しかし、その後もチャンスを決めきれずに2-0で前半を折り返すと、後半の4分、5分と立て続けに失点をして追いつ

かされてしまいました。しかし、こちらも決定

の精度)の向上、そしてメンタル(相手、試合に勝つということをピッチで表現する)の強さをものすごく感じました。この経験をこれからの繋げていきたいと思

います。

次の日のリーグ戦3試合目は、セレッソ大阪でした。この試合は、勝たなくてはいけない試合でした。序盤から少し押される場面もありましたが、しっかりと対応をして失点を防いでい

ましたが、24分のCKから失点をしてしまい0-1で折り返し、後半7分に追加点を入れられ苦しい展開となりましたが、11分に1点返してそこから勢いが出て、1対1などの決定機を作り

ました。この試合は、勝たなくてはならない試合でした。序盤から少し押される場面もありましたが、しっかりと対応をして失点を防いでい

ましたが、24分のCKから失点をしてしまい0-1で折り返し、後半7分に追加点を入れられ苦しい展開となりましたが、11分に1点返してそこから勢いが出て、1対1などの決定機を作り

ました。この試合は、勝たなくてはならない試合でした。序盤から少し押される場面もありましたが、しっかりと対応をして失点を防いでい

ましたが、24分のCKから失点をしてしまい0-1で折り返し、後半7分に追加点を入れられ苦しい展開となりましたが、11分に1点返してそこから勢いが出て、1対1などの決定機を作り

ました。この試合は、勝たなくてはならない試合でした。序盤から少し押される場面もありましたが、しっかりと対応をして失点を防いでい

ましたが、24分のCKから失点をしてしまい0-1で折り返し、後半7分に追加点を入れられ苦しい展開となりましたが、11分に1点返してそこから勢いが出て、1対1などの決定機を作り

ました。この試合は、勝たなくてはならない試合でした。序盤から少し押される場面もありましたが、しっかりと対応をして失点を防いでい

ましたが、24分のCKから失点をしてしまい0-1で折り返し、後半7分に追加点を入れられ苦しい展開となりましたが、11分に1点返してそこから勢いが出て、1対1などの決定機を作り

ました。この試合は、勝たなくてはならない試合でした。序盤から少し押される場面もありましたが、しっかりと対応をして失点を防いでい

ましたが、24分のCKから失点をしてしまい0-1で折り返し、後半7分に追加点を入れられ苦しい展開となりましたが、11分に1点返してそこから勢いが出て、1対1などの決定機を作り

ました。この試合は、勝たなくてはならない試合でした。序盤から少し押される場面もありましたが、しっかりと対応をして失点を防いでい

ましたが、24分のCKから失点をしてしまい0-1で折り返し、後半7分に追加点を入れられ苦しい展開となりましたが、11分に1点返してそこから勢いが出て、1対1などの決定機を作り

ました。この試合は、勝たなくてはならない試合でした。序盤から少し押される場面もありましたが、しっかりと対応をして失点を防いでい

ましたが、24分のCKから失点をしてしまい0-1で折り返し、後半7分に追加点を入れられ苦しい展開となりましたが、11分に1点返してそこから勢いが出て、1対1などの決定機を作り

ました。この試合は、勝たなくてはならない試合でした。序盤から少し押される場面もありましたが、しっかりと対応をして失点を防いでい



### 講演「夢追い人」の報告

元CP日本代表 主将 PALR ABOX代表 大橋 佳介

5月18日に県立東新で。私はハンディを特別支援学校に総合を持っていきますが、軽度で高校まで一般的な学習の講師としてお邪魔していただきました。これまで保育園から小中学校まで、支援学校等のこ

れからに繋げていきたくて、中、長距離のパス

の精度)の向上、そしてメンタル(相手、試合に勝つということをピッチで表現する)の強さをものすごく感じました。この経験をこれからの繋げていきたいと思

います。

次の日のリーグ戦3試合目は、セレッソ大阪でした。この試合は、勝たなくてはならない試合でした。序盤から少し押される場面もあり

ましたが、24分のCKから失点をしてしまい0-1で折り返し、後半7分に追加点を入れられ苦しい展開となりましたが、11分に1点返して

そこから勢いが出て、1対1などの決定機を作り

ました。この試合は、勝たなくてはならない試合でした。序盤から少し押される場面もありましたが、しっかりと対応をして失点を防いでい

ましたが、24分のCKから失点をしてしまい0-1で折り返し、後半7分に追加点を入れられ苦しい展開となりましたが、11分に1点返して

そこから勢いが出て、1対1などの決定機を作り

ました。この試合は、勝たなくてはならない試合でした。序盤から少し押される場面もありましたが、しっかりと対応をして失点を防いでい



### 「夢追い人講座」

大橋 佳介



ドサッカーを見ました。ゲーム、屋内と屋外に椅子、電動にクラッチに寝台とハンディは

様々。にも関わらず、全員にしっかりとした

ポジション、役割があり、競技者全員がそれ

を理解したうえで行う

サッカーに感極まり、涙が出ました。「どう

ですか?」と聞かれ、「(すげえ。)」と、それ

以外、言葉にできな

いくらい心に響きました。

どんな身体的状況にあっても協力し合っ

て勝負する姿は、私が忘れかけていたものを

呼び起こしてくれました。その夜に講演内容

### 糸魚川駅北大火復興支援

『サッカーフェスタ』開催報告

昨年十二月二十二日 集いました。糸魚川市サッカー協会及び地区サッカー協会及び糸魚川市サッカー協会と共に復興の第一歩となるべく『サッカーフェスタ』を開催しました。

ゲストに「新潟が大好きです!」と言っ

てくださる山口素弘さん(元日本代表・元アルビレックス新潟)を

お迎えし、300名を

超える選手、サッカーファミリーの方たちが

参加者全員で共有しま

した。

復興の道は険しいも

のですが、多くのサッ

カーの力で復興が

加速することを願っ

ています。

今回の総合学習を踏



# 第38回北信越国民体育大会 サッカー競技

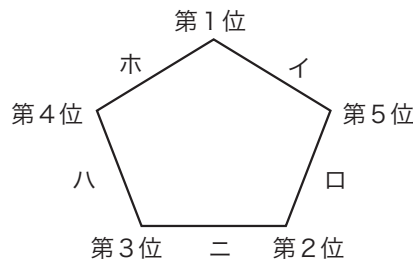
期日：2017年8月11日(金)～13日(日)

丸岡スポーツランドサッカー場(天然芝) [略称:丸スポ] 成年男子  
 丸岡スポーツランド人工芝グラウンド北コート(人工芝) [略称:丸スポ北] 少年男子  
 丸岡スポーツランド人工芝グラウンド南コート(人工芝) [略称:丸スポ南] 少年男子  
 三国運動公園人工芝グラウンド [略称:三国] 女子

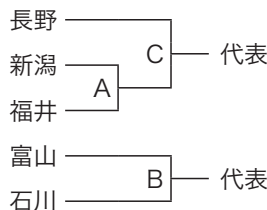
日	記号	会場	種別	開始時間	対戦	備考
11日(金)	イ	丸スポ北	少年男子	13:30	第1位 VS 第5位	変則対戦
12日(土)	A	丸スポ	成年男子	11:00	新潟 VS 福井	変則対戦
	B	丸スポ	成年男子	13:30	富山 VS 石川	変則対戦
	ロ	丸スポ北	少年男子	13:30	第2位 VS 第5位	準決勝
	ハ	丸スポ南	少年男子	13:30	第3位 VS 第4位	準決勝
	あ	三国	女子	11:00	長野 VS 富山	準決勝
13日(日)	い	三国	女子	13:30	福井 VS 石川	準決勝
	C	丸スポ	成年男子	11:00	長野 VS A勝者	変則対戦
	ニ	丸スポ北	少年男子	13:30	第2位 VS 第3位	変則対戦
	ホ	丸スポ南	少年男子	13:30	第1位 VS 第4位	代表決定戦
	う	三国	女子	11:00	新潟 VS あ勝者	代表決定戦

注) ベンチは上段表の左側チームがピッチに向かって左側とする。

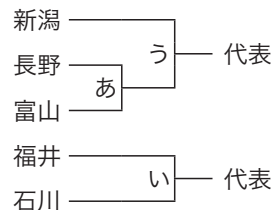
### ▼少年男子の部 競技組み合わせ



### ▼成年男子の部



### ▼女子の部



# THE 97th EMPEROR'S CUP 第97回天皇杯全日本サッカー選手権大会

## アルビレックス新潟が2回戦を突破し3回戦へ進出

### 第97回天皇杯全日本サッカー選手権大会 県勢成績

#### 【1回戦】

新潟医療福祉大学 (新潟県代表)	3 - 1	岐阜経済大学 (岐阜県代表)
------------------	-------	----------------

#### 【2回戦】

アルビレックス新潟 (J1)	2 - 1	バンディオンセ加古川 (兵庫県代表)
----------------	-------	--------------------

・延長戦前半12分DF西村選手のヘディング弾で勝利

新潟医療福祉大学 (新潟県代表)	0 - 2	セレッソ大阪 (J1)
------------------	-------	-------------

・J1セレッソ大阪の壁を破れず惜しくも敗退

アルビレックス新潟は、天皇杯とリーグ戦が重なる過密日程の中、6月21日デンカビッグスワンスタジアムにバンディオンセ加古川(兵庫県代表)を迎え2回戦を戦いました。呂比須新監督のもとフレッシュな陣容でアグレッシブに圧倒的に攻め込みながら苦戦。延長戦にもつれ込んだ接戦は延長前半12分、DF西村選手のヘディング弾で決勝点を奪い勝利しました。この勢いで攻守に質の向上を図り7月12日デンカビッグスワンスタジアムでJ1セレッソ大阪との3回戦勝利、ラウンド16進出を目指します。なお、新潟県選手権(都道府県代表決定戦)を制覇し新潟県代表として1回戦を勝利し2回戦に出場した新潟医療福祉大学サッカー部はJ1セレッソ大阪に健闘むなしく0対2で敗退しました。

3回戦は7月12日にデンカビッグスワンスタジアムで19時から対セレッソ大阪戦が行われます。

### チケット料金

	券種	指定席		自由席		
		S	SA	一般	高校生	小中学生
3回戦	前売り	¥3,600	¥2,600	¥1,600	¥1,100	¥900
	当日	¥4,600	¥3,600	¥2,100	¥1,600	¥1,100

### 大会結果報告

- 第70回新潟県高等学校総合体育大会サッカー競技大会
  - 優勝：日本文理高校(初優勝)
  - 準優勝：長岡向陵高校
  - 第3位：北越高校
  - 第3位：新潟西高校
- 第32回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会新潟県予選大会
  - 1位：エボルブジュニアユース
  - 2位：アルビレックスU15
  - 3位：長岡JYFC
- 長岡向陵高校 4-1 松本第一高校(長野県2位)
- 2回戦 長岡向陵高校 2-3 星陵高校(石川県1位)
- 2-3 日本文理高校(石川県2位)
- 2-3 金沢高校(石川県2位)



### 総会・理事会の開催

社員総会・理事会が平成二十九年五月三十日、ホテルオークラ新潟(新潟市)で開催されました。会議では次の事項が審議され、満場一致で承認されました。

一、平成二十八年年度事業報告・決算報告  
 二、その他

### 事務局より

平成二十九年年度の特任理事に次の方が就任されました。

特任理事 中野 幸夫 (株)アルビレックス新潟代表取締役社長

特任理事 中村 勉 (JAPANサッカーカレッジ校長)

### 人事異動

退職 永塚 博 六月二十日付

採用 館川 正人 四月五日付

佐藤 英枝 四月五日付

よろしくお願いたします。